

タイトル：	市民開発サポート要員スキル向上トレーニング
パーパス：	RPA を活用して組織全体のデジタル変革を推進し、企業価値を向上させる。
ミッション：目的	RPA を活用した ①DX マインド醸成およびスキル向上 ②生産性向上による企業価値向上 ③市民開発サポート CoE の増員
ビジョン：目標	市民開発サポート要員の育成 ①業務フロー自体を変革する能力の習得 ②ユーザー開発をサポートできる能力の習得 ③問い合わせ対応できる能力の習得
戦略：ミッションやビジョンを達成するための方針や計画	①教育とトレーニングの強化： 市民開発者が RPA を効果的に活用できるよう、体系的な教育プログラムを提供。 ②実践的な学習環境の構築： 理論だけでなく、実際の業務に即した演習を通じてスキルを磨く機会を提供。 ③相互学習の促進： チーム内での知識共有を奨励し、協力して問題解決に取り組む文化を醸成。
戦術：手段	①マインドセット研修 ②自己学習 ミニロボ（ブラウザ操作、条件分岐、Excel 読み書き、データテーブル繰り返し、Sharepoint 操作）を自力で作成する。 ③相互学習（ワークショップ） 自力で作成したミニロボの疑問点を教え合う。 ④実践演習 開発フェーズ：禁則事項を踏まえ、自動化に適する業務を発掘し、Studio で無人ロボを開発する。 プレ本番フェーズ：VM で動作を検証、Orchestrator へパブリッシュし手動およびスケジュール実行、デバッグを繰り返し完成させる。 本番フェーズ：設計書とテスト仕様書・報告書を作成する。 ⑤実務教育（OJT） 業務ヒアリングシート起票された業務の開発をサポートする。 問い合わせ対応する。
体制：	システム開発 U 本社：1 名（兼務） 東支社駐在：2-4 名（兼務） 西支社駐在：2-4 名（兼務）
スケジュール：	①-③3 か月 ④⑤数年
技術スタック：	①UiPath Studio ②Azure VM ③UiPath Orchestrator